

『夏休み子ども講座』から

長崎市滑石公民館

1 はじめに

今年度の「夏休み子ども講座」では、下記のとおり、絵画、パン、アロマ手ごね石鹸、土でつくる土鈴や土笛、皿やコップなどのやきものづくりを計画した。小学生を対象とした講座であり、どの講座も定員を満たし盛況のうちに終えることができた。

子どもと話す中で分かったことは、子ども自身が講座で学んだことを学校の宿題にしたり、保護者の方が子どもと一緒に受講し楽しんだりしたいという受講理由であった。

受講理由はさまざまであっても、普段の利用者は高齢者が多い中で、子どもが楽しく取り組んでいる姿を見られるとともに、何より講座内容への興味・関心が高いことがうかがえたことは喜ばしいことであった。

そこで、次年度以降の「夏休み子ども講座」の開設とその充実をめざして記したい。

＜今年度の取組＞



子ども絵画教室



親子で楽しいパンづくり



親子でアロマ手ごねせっけんづくり



土でつくろう（土鈴や土笛）



やきもの教室

2 令和7年度の取組予定

次年度は、これまでも開設してきた「子ども絵画教室」と「やきもの教室」に加え、次のとおり親子で取り組む教室を計画したい。

○親子でアロマ手ごねせっけんづくり（小1～小6）	親子10組
○親子で料理をしよう（小4～小6）	親子10組
○親子で楽しいパンづくり（小4～小6）	親子10組
○親子でヨガをしよう（小1～小6）	親子10組
○親子で「お金」を学ぼう（小4～小6）	親子10組

(1) 親世代を含めた若い世代の来館者を増やす機会とする

親子で取り組む教室を開設することで、子どもはもちろん、親世代が公民館に来る機会となる。

そして、初めて公民館に来る人にとっては、公民館内に図書室があることや、隣には児童館があること、市内のさまざまな取組を紹介するチラシがあることなど、さまざまに知ることができる。

夏休みとはいえ、子どもは塾や習い事、クラブ活動等で多忙という現状であるが、この機会に、公民館が学校とは違う学習環境の中で、いきいきと学びを楽しめる教室があることを認知できるようにしたい。



(2) 青少年のニーズに照らした教室（講座）を開設する

そのためにも、公民館における青少年を対象とした教室（講座）の内容は、青少年の生活実態や課題、興味・関心ある内容、そしてニーズ等を考慮したい。また、学校ではなかなか取り組むことが困難な内容、学校で学んだことを発展できる内容、少人数だからこそできる内容などを学べる教室（講座）を開設したい。さらには、保護者の興味・関心ある内容を取り込んだ親子教室（講座）を開設することで、親子のふれあいや会話など、優しさやぬくもりなどを楽しむ時間としてほしい。

(3) さらに今後の教室（講座）開設を検討する

次年度以降、親子で取り組む教室（講座）を開設する中で、上記（2）に示すような内容をさらに具体化していきたい。

たとえば、現在、高齢者を対象としたパソコンやタブレット、スマホ等の講座については、機器の基本的な操作を学ぶとともに、LINEの使用や詐欺に遭わないようにすることなどを学んでいる。また、昨年度の夏の子ども教室では、親子で取り組むプログラミングを行ってきたところである。今後、スマホに関する親子講座を開設して、スマホの取り扱いに伴う利便性や危険性などを親子で学べるよう検討したい。

また、親子で、茶道や華道、囲碁や将棋などの伝統文化等を体験する講座に取り組む機会を設けることで、伝統文化の継承にもつなげたい。

3 おわりに

今後も、公民館では、地域の将来の担い手となる青少年を育成することも1つのねらいとし、社会教育の側面から青少年の興味・関心あるテーマや内容を検討して魅力ある講座や教室を開設していきたい。

また、他地区の公民館やふれあいセンターでの講座や教室等の取組内容に関する情報を共有することで、公民館の主催講座全体を充実できるものとする。